マスク着用者の熱中症災害事例（岡山県内、過去３年以内）

●事例①

業種　建築工事業

休業見込：5 日　経験年数：１月

〔発生状況〕発生５月　10 時台

屋内の焼却炉工事の足場解体作業を行い、10 時の休憩後、起き上がることができなくなった。作業のため、防護服、防じんマスクを着用して作業していた。

●事例②

業種　製造業

休業見込：12 日　経験年数：５年

〔発生状況〕発生７月　13 時台

工場内で、防じんマスクを着用し、金属部品の溶接作業を行っていた。午前中、嘔吐したが、水分を補給して作業を続けていたところ、さらに状態が悪化し、救急搬送された。

新型コロナ感染症対策のため、マスクの着用は重要ですが、熱中症のおそれも高まります。
長期予報では早くから高温の日が続き、暑い夏になる予想も出ています。

作業に当たっては、例年以上に
・こまめな休憩や水分補給を行うように作業計画の策定
・必要に応じて冷房の温度を下げるなどの作業環境の整備
を行いましょう！